

# スクランブルミキサー HM-01型 使用例



株 式 会 社 四 柳

22.4.19 株式会社四柳様

株式会社四柳製「スクランブルミキサーHM-01型」デモンストレーション

場 所： 東京都内某温水プール

日 時： 平成22年4月17日

目 的： 可動床プールの可動床以下の沈殿物・ゴミの状況把握及び清掃の方法並びに  
プール最深部に水の流れを創り、ゆすり蚊等の発生を防ぐ。

プール形状： 別紙図面参照

☆2.5m×1.5m 可動床2面 温水プール

☆水深 可動床面は任意に水深を変えることが出来る。

☆プール中央に2.5mにわたり、2m巾で水面から3.5mの深さになっている。

☆2面の可動床は中央部でそれぞれに可動し、それぞれの床が深さを変えても遊泳者が深い所に落ち込まない様、それぞれに仕切りのスカートが付いている。

☆可動床には各床に点検用としてそれぞれに2ヶ所、計4ヶ所の点検口がある。

実験方法： 点検口①②③④それぞれを開け、可動床下の確認。

点検口②③から「スクランブルミキサーHM-01型」2台を最深部に沈め、所定の位置に設置。(別紙図面参照)

電源を入れ作動し状況を見る。

実験結果： 別紙の様にプール最深部の中央に沈め流れを創ると、「スクランブルミキサーHM-01型」から強力な水の流れが発生し、最深部のゴミが点検口に浮遊し、見学者から感嘆の声が上った。

平成22年5月から、2～3ヶ月程度、同所で長期テストを行っている。

過去に数ヶ所の納入実績があり各所で順調に可動し、好評を得ています。



◎ 2分割の可動床 (7.5m × 2.5m) が2つある。  
その上にプールフロアが乗っている。



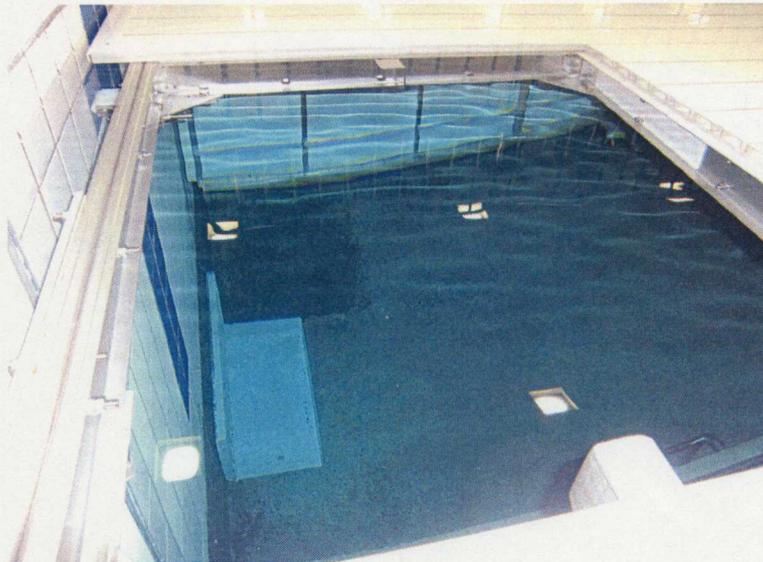
◎ プールへの出入口の方から見て点検口が手前に2ヶ所、奥に2ヶ所ある。



◎ 設置準備中



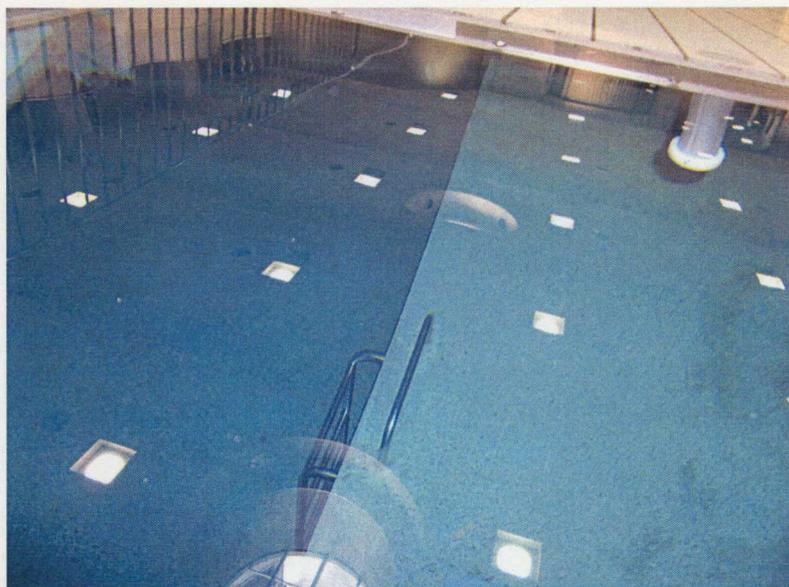
◎ ②分割の可動床の内手前可動床のスカートが見える。



◎据付中この後ダイバーが2台をプールの最深部の溝に背中合わせに設置した。



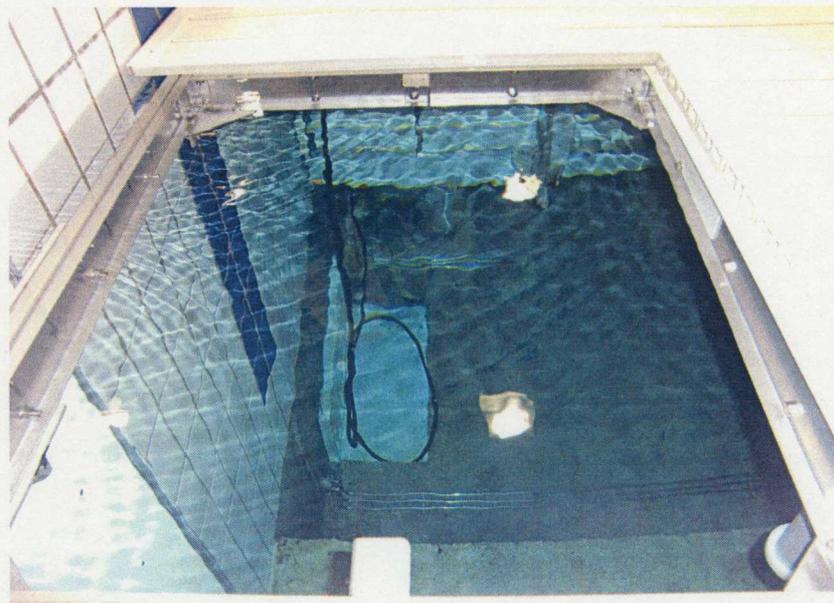
◎ 左側の溝（水深3.5m・巾2.0m・長さ25m）の中にスカートが納まる。  
右側の床は可動床が収まる底。（水深2m）



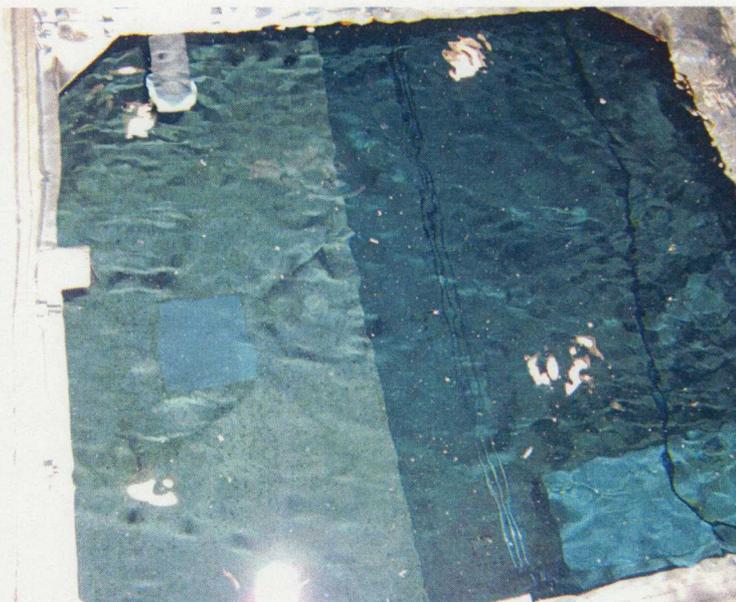
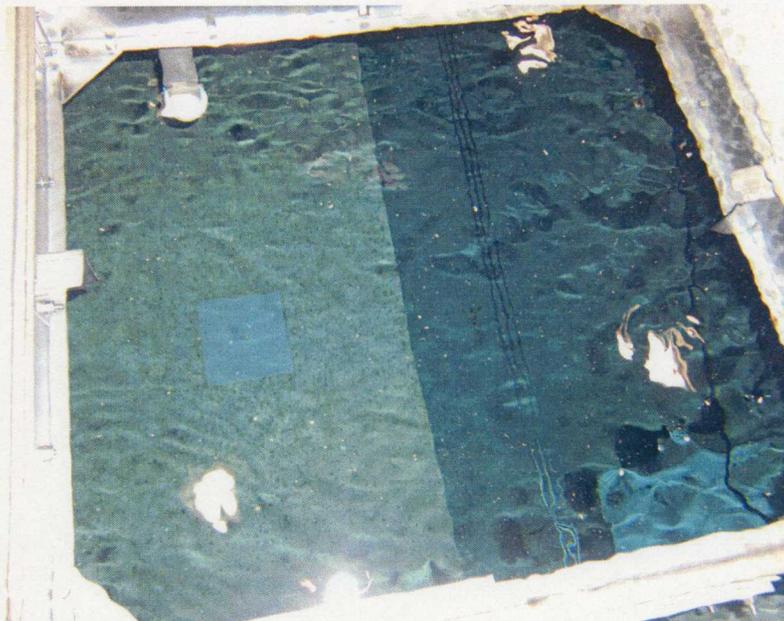
◎ 右側に濾過器の吸込口が見える。  
出入口側の点検口からゴミが出てきている。



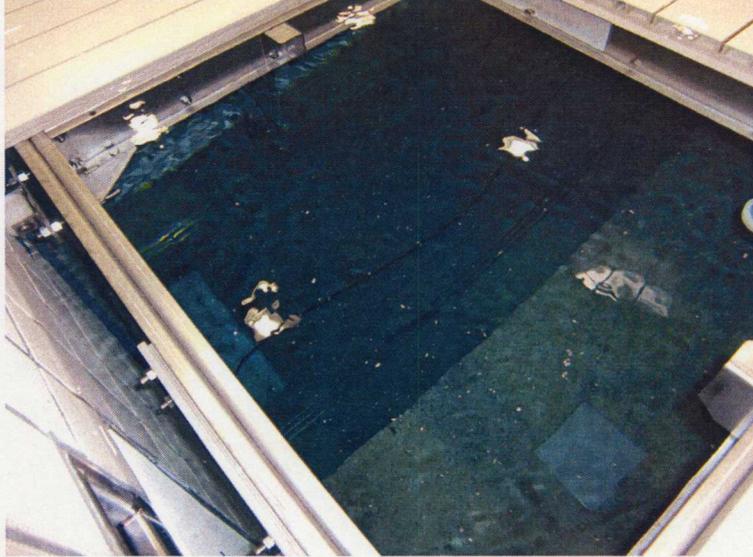
◎ 左側下に濾過器の吸込口が見える。  
流れにより水面にも流れが見える。



◎ プール最深部中央に2台背中合わせに設置し可動したら「絆創膏・綿埃等が大量に  
浮上してきた。



◎ ゴミが多数浮上してきている。(出入口側点検口)



◎大きなゴミも浮上している。(出入口側点検口)



◎ゴミが多数浮上してきている。(反対側点検口)



◎ゴミが多数浮上してきている。(反対側点検口)



◎ゴミが多数浮上してきている。(反対側点検口)



◎ プールの出入口側点検口2ヶ所



◎ 反対側の点検口

